

## 保育士の活動

### 1. スタッフ

- 2 A病棟 堀内けい子 江本 恵美  
 3 A病棟 有村 理美 森本 智子 園 友香理  
 4 A病棟 中村 崇江 北條 麻貴  
 (小谷 朋美：産休)

### 2. 業務内容と年間計画

#### 1) 業務内容

子どもと家族が安心して入院できる環境を提供し、入院中であっても子どもらしい生活が送れるように、生活や遊び、学習の支援を行っている。以上のことを基本に、短期入院の子ども達には心の安定を図ること、長期入院の子ども達には生活の場を整えること、成長発達を促進すること、検査や手術のために入院してくる子ども達には不安の軽減や気分転換などを中心に支援を行っている。保護者に対しても、入院生活を安心して受け止められるようにコミュニケーションを密にして支援を行っている。また、必要に応じて、子育ての相談や支援なども行っている。

#### 2) 平成22年度の主な行事計画

##### ①子ども医療センター全体で行った行事

月 日	行事名
8月17日	Jリーガー元気プロジェクト
9月8日	わくわくお話しカーニバル
10月7日	銀だこカー訪問
10月20日	ハッピーカラープロジェクト
11月27日	ドナルド・マクドナルド訪問

##### Jリーグ元気プロジェクト

小倉選手と宇都宮SCの選手が各病棟を回り、リフティングやドリブルなどの華麗な技を披露していただき、子どもたちとクイズをして楽しいひと時を過ごした。

##### わくわくお話しカーニバル

エプロンシアター・パネルシアター・指人形劇などで趣向を凝らしたお話や歌を見せていただき、子どもたちと一緒に、ご家族の方々にも楽しんでいた。

##### ハッピーカラープロジェクト

アーティストのMAYA MAXXさんと一緒にクリエイティブルームでアクリル絵の具を使用し、大きな紙にたくさんの絵を描いた。作品は各病棟のプレイコーナーや廊下に飾られた。中には、裸足になって絵の具を使い、体全体を使って楽しんでた。また、子ども達は口々に「明日もやりたい」とMAYAさんをお願いしていた。

##### ②クリニック라운の訪問

主に、4 A病棟を対象に4回の定期的な訪問をしていただいた。長期に入院している子どもたちがほとんどのため、毎回라운が訪問するのを楽しみにしている。라운の鼻を母親と一緒に作り、その鼻をつけて待っている子どもたちの姿もあった。はじめ恥ずかしそうにしていた子ども達であったが、すぐに라운と打ち解け、満面の笑みを浮かべていた。中には、라운の後をずっと付いていく親子の姿も見られた。

##### ③病棟ごとの行事

病棟各々に入院対象の子ども達の特徴があるため全体での行事を最小限にした。毎月、余暇活動を実施するなど病棟の特色に合わせた行事運営を行った。余暇活動を実施するに当たり、ボランティアの方々の協力を得た。また、今年度、こいのぼり飾りを購入し、センターの4階から2階のデッキにこいのぼりを飾り、子どもたちや家族の目を楽しませることができた。

月	行事名	病棟
5月	ピクニック	3 A・4 A病棟
7～8月	夕涼み会	2 A・3 A・4 A病棟
10月	ハロウィン	2 A・3 A・4 A病棟
12月	クリスマス会	2 A・3 A・4 A病棟

毎月の余暇活動としては、絵本の読み聞かせを子どもセンターオープン以来継続して実施している。その他、エプロンシアター、手品、合唱、楽器演奏、バルーンアートなどを各々の病棟で実施した。

病棟ごとの行事においては、単調な入院生活に季節感を味わうことができるように、また家族や医療スタッフと一緒に楽しいひとときを過ごせるようにと、行事担当の看護師と企画・運営を行った。

### 3. 保育士会の係活動

- ・保育業務基準の見直しを行った。
- ・勉強会を企画し、6回実施した。
- ・子ども医療センター全体の遊具や本の管理を行っている。

### 4. その他

- ・勉強会では、保育倫理で事例を検討する・遊びの勉強会に看護師の参加も募るなど、新たな試みをした。
- ・健康な子どもを対象とした保育関連の研修会へ参加した。

- ・とちぎ小児看護研究会において、遊びの講演並びに実技指導を行った。
- ・支援基金の寄贈品の中で、保育活動に必要な物品の管理を行っている。
- ・3名が日本医療保育学会認定の「医療保育専門士」の資格を取得した。
- ・PICU・NICUに入院している子どもの保育を行った。

#### 5. 次年度の課題

- ・病棟の特徴に合わせた保育や行事の企画運営を見直す。